

令和 6 年度第 2 回三木市創生計画策定検証委員会 議事録（概要）

日 時：令和 6 年 9 月 26 日（木）

午後 2 時～午後 4 時

場 所：三木市役所 4 階特別会議室

参加者：委員・オブザーバー 13 名

三木市 13 名

※詳細は別紙

説明事項

- ・第 2 期三木市創生計画 ～K P I 集～

概要

- ・第 3 期三木市創生計画の素案を提示し、委員に意見を求めた。

今後について

- ・令和 6 年度第 3 回三木市創生計画策定検証委員会を 1 月に開催する方向で日程調整を進める。
- ・次回までに、各委員のイチオシ事業について意見をいただく。

主な意見

分類	内容
第 3 期素案について	<ul style="list-style-type: none">・第 2 期と比べると、具体的な内容になってきたと感じる。農業振興、観光振興が明記されたこともあり、前回よりわかりやすくなった。・チャレンジ三木はいい響き！！だが、すべてにチャレンジを入れるかどうかは考えたほうが良い。・KPI が整理されたのは良いこと・データの年度表示を西暦に統一してほしい・女性や高齢者の労働人口を増加させることで、労働力人口を確保する、という考え方では頭打ちになる。働き方を改善し、効率化を図るしかなくなるため、DX に特化した内容の計画にしてはどうか・各事業とターゲットのライフステージのリンク

	<p>が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を誰もが簡単に理解できるように、概要版で表現する。短時間で見れるようにもなり、大変ありがたい。 ・人口減少について、どういった層が減少しているのか把握し、その層にアプローチしていくのが重要である。例えば、市内の若者世代をどうしたいのか方針を記載してはどうか。三木市の若者を市外に出さないというくらいにする。(KPI等から)。 ・三木の魅力をどのようにして出していくのが重要民間も巻き込むことが大切。 ・3期に向けてインパクト性のあるメッセージにした方が良い。
ゴルフについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフを核とするのは難しい。ブランド化を具体的にどう進めるかが重要。KPI(ゴルフ場の来場者数)について、行政的なサポートはどんなことができるのか。110万人から120万人にするという目標を立てているが、伸びしろがあまりないのではないか。実際にプレーしているとかなり満員の気がする。 ・ゴルフ帰りに地域でちょっと寄って買って帰る場所がない。道の駅の話があったため、期待したい。ゴルフ場と地域がつながる仕組みがあると良い。
金物について	<ul style="list-style-type: none"> ・人口維持という観点から、雇用の確保が重要になってくる。金物が三木の主軸の産業になりうるのか。ぜひ、金物の商品開発を考えてほしい。流通まで考えた事業を進めてほしい。 ・三木は金物のまちとして業種が固まっている。メーカー、下請け会社、卸がありというピラミッドがあり、それが非常に魅力的だと銀行からも評価いただいている。
農業について	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の問題、コメ不足、農業の重要性が再認識された。国の農業施策に変化に合わせプロ農家、アプリで一日農業バイト等も新聞記事で見た。

	<ul style="list-style-type: none"> ・農業特出ししていただいているのは有難い。農地の後継者不足が顕著であり、5年は持つが10年は持たない。尖った施策を入れてほしい。 ・農業分野のDXは一つのポイントでは。
観光について	<ul style="list-style-type: none"> ・観光業としての観光を考えてほしい。補助金を出してツアーを組むという形は古い。旅行会社のプロと組み、アドバイスを受けながら進めてほしい。生き生きと働ける街になると思う。 ・ローカルラグジュアリーの観点から、希少で豊かな体験にお金を使う高齢者は居る。こういった層にお金を使ってもらうことも考えてはどうか。オーベルジュなどもいいのではないか。ツアーの組成にチャレンジするのも良い。 ・体験観光などの取組もインバウンドも見据えて良い。
教育について	<ul style="list-style-type: none"> ・減らないようにするために教育が大切。教育を受けさせたいという環境をつくりたい。小中一貫校の整備を早ければ令和11年の開校を目指して進めている。
防災について	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の観点から、三木市は南海トラフの指定地域にぎりぎりはいっており、防災・減災に対する耐震化率等入れてはどうか。(KPIが削除されてしまった。残すべき。) ・防災の視点は大切。三木は災害の少ないところ。防災対策の見える化が、選ばれるまちの一つの要素とを感じる。
情報発信について	<ul style="list-style-type: none"> ・市の公式LINEなどの活用もしたら面白いかもしれない。HPとリンクさせるなども考えてはどうか。 ・情報が、あるものを使って目に届くような仕組みなどもあるとよい。
DXについて	<ul style="list-style-type: none"> ・DXの流れについてこられた企業とそうでない企業との格差が顕著になっている。 ・DXですべての事業を推進するという項目を作っ

	<p>でも良いのではないか。</p> <p>【DXを推進しなくてはいけない理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産年齢人口を増やすには、女性の就業率を上げとあるが、既に女性就業率 15 歳から 64 歳、73.3%と 10 年前より 11 ポイント増加しており、男性就業率も 84%である。 ・基本的なキャリア形成と出産育児の支援 <p>シニアの活躍の必要性を加えているが、シニアの就業率は 2023 年 65 歳から 69 歳が、52%、70 歳から 74 歳 34%、75 歳以上 11%とすでに高い状況である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性・高齢者を増やして労働人口を確保は、頭打ちになる。 ・好きなことをしながら暮らしていける世の中づくりが大切である。 ・外国人技能実習制度が変更に向かう中で問題が浮かびあがってきている。 ・この 3 つで人手不足対策不十分である。 ・人手不足という問題があるが、現在それを解決できる方法はない。新しい解決策として、DX を提案する組織改革、業務プロセスの入れ替え。10 人の仕事を 5 人でやるくらいの効率化が図れる。日本と、欧米の経済成長の差は、1 つが DX をやってきたかどうか。 ・DX について民間企業だと二極化している。 ・JTC Japan Traditional Company（昔からの仕事のやり方が変えられない企業と欧米的な仕事の仕方をする企業とで格差が生じており、前者が後者に全然追いつかないという、問題点がある。 ・DX で仕事の割り振りを変えることができる。
交通について	<ul style="list-style-type: none"> ・相野駅から 2 km くらいで三木。ラストワンマイルへの対応が必要。 ・交通網に対してレベル 4 の自動運転の実証事業

	<p>が 99 自治体で採択されている。2027 年以降実装飲み込み。→自動運転は、団地再生事業の中で検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスも重要だが、停留所まで行く仕組みをデマンド交通として進めている。人口が減ることに対応したまちづくりを進めている。
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人について 	<ul style="list-style-type: none"> ・数で言えば加東市の方が多いが、外国人の増加が著しい。良いことだと思う。 ・外国人との共生は文化の違いがあるので、共生という視点はますます大事。取り組んでほしい。 ・外国人にどのように対応するのか検討が必要 ・外国人は、創生計画の事業対象に入っているのかどうか。入っていない場合、外国人に特化した施策を打つのか。 ・外国人と地域との兼ね合いは難しい。地域だけでは難しいので、企業と契約する形で問題を解決してほしい。 ・外国人が増えており、どのような居住体系か？永住か一時的なのか分析をしてはどうか。そこから施策検討をしていくのはよいと思う ・外国人は、技能実習生が大多数を占めている。国際交流協会を通じて企業にもお願いをしていきたい。 ・外国人の問題、東播地区で三木が一番多いと聞いている。国際交流協会に参加する外国人は良いが、文化の違いや交通マナー等のマイナス面がある。地域の理解も大切であると感じる。
<p>地方創生について（企業連携・人口他）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自社が活動している 9 市 1 町の中で、三木市との連携事業が一番うまく進んでいる。仕組みが出来だしている。民間同士がつながる仕組みにより役立ちの幅が広がる。民間同士をつなぐ施策を入れてはどうか。 ・民間同士をつなぐことは非常に重要であると考えている。事業で誰かと組む時は、誰と組むかを重

	<p>要視している。持続可能な視点で重要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の就業率は世界的にも高い。働かないと食べていけないという理由もある。 ・高齢者の就業については、真面目に働く日本人の生き方を美德として捉えているのではと思う。 ・移住先 丹波篠山、淡路、南あわじ、三木は4位 ・未婚晩婚化対策が必要かどうかについては議論が必要である。なぜならば、結婚した夫婦から生まれる子どもの数は減っていない。子育て支援より、その前の段階が重要ではないか。KPI数が64から48に減ってきたのはいいことである。 ・働きたい人が働ける環境以外にも、ボランティア等働き方の多様性等記載した方がよいのでは。
水道について	<ul style="list-style-type: none"> ・水道管の老朽化の話はあるものの、貯水タンクの耐震化は94%と全国的にも高い数字を誇っている。(全国平均は60%程度) いい面を外部に発信していくべき。見える化が重要。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信で神戸新聞に三木版があるのはなぜか。→地域の発展性を期待したのだと思う。三木市と三田市は、ニュータウンとして発展するというところで、人口が増えることを予想して、三木版ができた。三木市は、購読率も高い。 ・三田は、三木の人口構成と同じ道をたどっている。